



32歳
小金井
育ち

坂井えつ子の つながる小金井通信



事務所：小金井市本町 2-19-36（市民自治こがねい）
TEL/FAX：042-316-1619 メール：tunagarukoganei@yahoo.co.jp
HP・ブログ・Twitter・Facebook ⇒ [坂井えつ子](#) 検索
発行：坂井えつ子とつながる小金井の会 2013年3月7日 第7号

3. 11からもうすぐ2年

やっぱり「さよなら原発！」 子どもたちを守っていこう



福島の原発事故からもうすぐで2年が経ちます。

「原発事故を二度と繰り返してはいけない、いのちを守っていききたい」という思いから、震災後は放射能の市民測定室や「さよなら原発！小金井パレード」、そして原発都民投票にも参加してきました。

最近では、給食食材の納入業者選定に関し、食の安全を求めて母親たちを中心に要望者がまとめられました。生産者の顔が見えることは安心にもつながります。子どもたちが毎日食べる給食は内部被ばくゼロを目指していくべきです。子どもたちを守って行くのは私たちの責任です。

小金井から原発に頼らない取り組みを進めましょう！

脱原発・小金井宣言を 市民参加で

市に脱原発宣言を求める陳情が2月議会で可決されました。3.11以降、八王子や杉並、三鷹では市民による宣言が行われましたが、自治体による宣言はまだ行われていません。脱原発とエネルギー政策の抜本的な転換を求め、市民参加で小金井市としての宣言を実現しましょう。



1 公共施設でさらなる節電を

現在、小金井市では電気料金値上げによる経費増から環境配慮方針を見直し、市役所や、市内小中学校、図書館本館に、PPS（特定規模電力事業者）を導入し、東京電力ではない事業者から電力を購入しています。東京電力から購入する場合に比べて、年間500万円ほどの節減が見込まれています。

2018年にジャノメ跡地に竣工予定の新庁舎でもPPSの導入で環境にやさしいエコ庁舎にしていきたいと思います。

*PPSって?? ⇒ 既存大手電力会社である東京電力などの一般電気事業者とは別の電気事業者のことで、契約電力が50kW以上の需要家は電力会社を選ぶことができるようになった。

さらなる節電も大切です。LEDに変わってFHF蛍光管が目目されています。小平市役所では庁舎の蛍光管の87%をFHFに変え、年間1万5600ワット、20万円以上の節減が見込まれています。

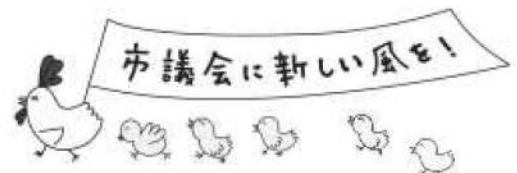
推薦します！

坂井さんは、在宅介護や障がい者施設での勤務などの経験を活かして、地に足の着いた「人にやさしい」確かな政治を実践できる人です。



（漢人あきこ/緑町/小金井市議会議員）

選挙に行こう！3月24日は小金井市議選です



* つながる街中演説会



日時 * **3月16日(土)**15:30~16:30(雨天中止)

場所: JR 武蔵小金井駅北口周辺



2 大型駅前開発はやめて 地域の特性を活かしたまちに

武蔵小金井駅南口では、すでに市民交流センターや商業施設のある第1地区の再開発事業が終了し、現在、一度ストップした隣接する南側の第2地区の計画が動き出しています。大きなエネルギーを消費するまちづくりは見直すべきです。

また、駅前開発を進めて行くと、駅を利用する方にとっては利便性が高まるかもしれませんが、お年寄りや体の不自由な方、小さいお子さんがいらっしゃる方にとっては近所に商店があれば買い物の負担も減らせます。駅前一極集中の街づくりは、地域の商店には大きなダメージを与えますし、チェーン店が増えることで「小金井らしさ」も失われていくのではないのでしょうか。

まちづくりは、地域の商店やそこにある自然を大切にしながら、暮らしている人に寄り添って進めていくことが大事です。

3 日々の暮らしからもゴミ減量を

小中学校や公務員住宅に設置されている生ごみ処理機をもっと増やし、乾燥型から消滅型へ変えていくことも有効です。

「ゴミゼロを決意し、再利用・再資源化を進める」ごみゼロ(ゼロ・ウェイスト)宣言を目指す埼玉県久喜市で実践されている生ゴミ減容のHDMシステム(木くずチップを使用した菌床による分解システム。24時間で90%以上減容)など積極的に導入するべきです。

また、一人一人が「ゴミを出さない生活」を心がけることも大切です。生ゴミの70~80%は水分と言われています。

しっかりと水切りをするだけで、ごみ減量につながりますし、分別を徹底しリサイクルすることも大切です。ちょっとした心遣いが重なれば大幅なゴミ減量につながります。



1980年大阪市生まれ
10歳の時、小金井市に転入
現在は桜町在住
緑小、緑中、小金井北高卒業
日本大学法学部卒業
日本福祉教育専門学校入学

プロフィール



「憲法9条を守り東アジアから平和な社会をつくろう」と韓国一周100日Walkに参加。現在、NPO法人ぴあたちばな勤務。精神障がい者と呼ばれる方達が暮らすグループホームで働く

小金井市図書館協議会委員(~2012.10) / 放射能測定器運営連絡協議会会員 / 市民自治こがねい運営委員、緑の党Youthチームとしても活動中

いよいよ市議選 支え合いのまちへ

坂井えつ子

いま、私がこのような活動をしているのは、両親の他界が大きな転機でした。

治療を続けていた母の「家に帰りたい」という思いから最後は家で看取りましたが、ほぼ一人での介護は大変な毎日でした。自分の時間が少しでもいいから欲しい、不安などを吐き出して共有できる場があればいいなと思いましたが、日々を過ごすだけで精いっぱいでした。

本当に困っているときは、「困っている」という声さえも挙げられないものです。ですから今は、当時の経験を活かして介護者支援にも取り組んでいきたいと考えています。

このような視点は、子育てや貧困などにも反映できると思います。家庭の外からは見えにくいこれらの問題を、地域で政治という枠組みから変え、支え合いのまちづくりを進めていきたいと思っています。

会員募集中!坂井えつ子とつながる小金井の会

年会費:一口2,000円 カンパ大歓迎

郵便振替口座:00130-3-652172

坂井えつ子とつながる小金井の会

